

平成25年度 当初予算の概要

平成25年度 猿払村の予算総額は

54億6,514万円

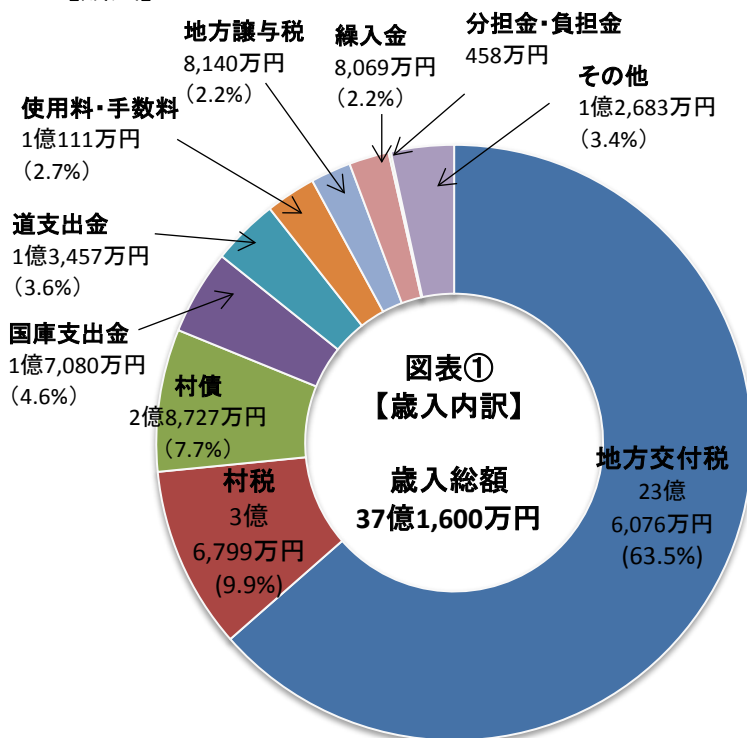
です。

会計名	平成25年度	平成24年度	増減額	増減率
一般会計	37億1,600万円	35億6,485万円	1億5,115万円	4.2%
特別会計	11億5,816万円	11億8,813万円	▲2,998万円	▲2.5%
簡易水道	2億7,102万円	2億4,188万円	2,914万円	12.0%
下水道	1億5,993万円	2億3,512万円	▲7,519万円	▲32.0%
国民健康保険	4億2,827万円	4億1,612万円	1,215万円	2.9%
介護保険	2億6,665万円	2億6,420万円	244万円	0.9%
保険事業勘定	2億4,131万円	2億3,971万円	159万円	0.7%
介護サービス事業勘定	2,534万円	2,449万円	85万円	3.5%
後期高齢者医療	3,229万円	3,081万円	148万円	4.8%
国民健康保険病院事業会計	5億9,098万円	5億6,962万円	2,136万円	3.8%
合計	54億6,514万円	53億2,260万円	1億4,253万円	2.7%

村の会計は「一般会計」と「特別会計」の大きく2つに分かれています。一般会計とは、村の基本的な仕事をするための予算で、皆さんから納付していただく村税や国・道からのお金などが主な財源です。一方で特別会計は、特定の事業を行うための予算です。猿払村には「簡易水道」「下水道」「国民健康保険」「介護保険」「後期高齢者医療」の特別会計があります。これらは保険料や使用料などの特定の収入でまかなわれています。その他に、病院の会計全般の国民健康保険病院事業会計があります。

25年度当初予算の総額は、24年度に比べ1億4,253万円の増額となっています。主な要因としては、道路の改良や住宅の整備など、大規模な事業が多く行われるためです。

【歳入】



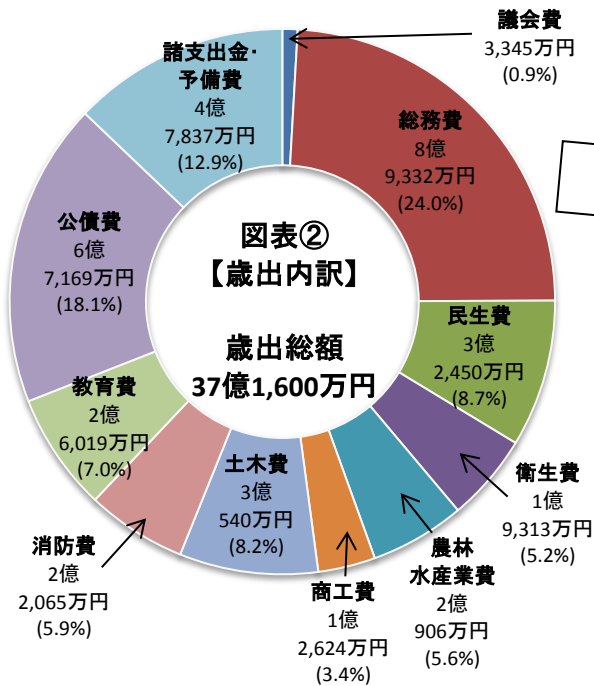
- ☆地方交付税：自治体間の格差をなくすために、国からもらえるお金です。
- ☆村税：皆さんから納めていただく税金です。
- ☆村債：村の借金です。
- ☆国庫支出金・道支出金：国や道から支給されるお金で、使い道が決められています。
- ☆使用料・手数料：集会施設やデマンド自動車、火葬場等の使用料のほか保育料等があります。
- ☆地方譲与税：国税として徴収後、自治体へ配分されるお金です。揮発油税や自動車重量税があります。
- ☆繰入金：予算に不足が生じたとき、特別会計から財源を移行したり、基金（貯金）を取り崩して生じるお金です。
- ☆分担金・負担金：事業を行う上で、皆さんからいただくお金です。
- ☆その他：各種利子収入、財産売払収入や寄付金などです。

一般会計の歳入においては、自主財源である村税が、前年度比で▲4,017万円（▲9.8%）の減となる3億6,799万円を計上しました。歳入の中でも合わせて73.9%を占めている地方交付税・国庫支出金・道支出金・地方譲与税は国や道からの「仕送り」のようなもので、村の財政はそれらのお金に依存してしまっているのが現状です。

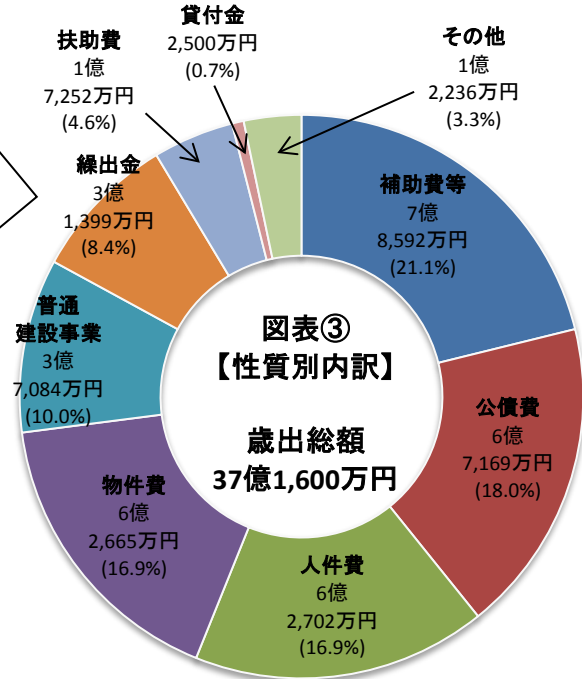
【歳出】

一般会計の歳出については図表②、図表③のとおりとなっています。

- ・普通建設事業費・・・3億7,084万円【前年度比：6,162万円（19.9%）増】
- ・公債費・・・6億7,169万円【前年度比：▲6,452万円（▲8.8%）減】
- ・人件費・・・6億2,702万円【前年度比：▲1,960万円（▲3.0%）減】



性質別に
分けると...



図表②は費用ごとの村の歳出内訳、図表③は歳出を性質別に分けたものです。どちらの表を見ても、村の借金を返すためのお金（公債費）の割合が多くなっています。公債費の目安として「実質公債費比率」というものがあります。これは「借金返済のためのお金が、支出全体でどのくらいの割合を占めているのか」という指標です。この割合が高いほど借金返済に充てるお金が多く、他の事業に回すお金が少ない＝財政的に厳しい団体ということになります。この比率が18%を超えると、新たに借金をするときに北海道の許可が必要になります。猿払村の実質公債費比率は17.9%であり目安である18%を下回っているものの、全道179市町村中、実質公債費比率が高い順から19番目であり、管内の市町村中では4番目に高く、今後も計画的な財政運営が必要です。（23年度決算値）

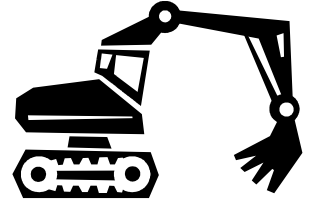
25年度予算をもとに行われる主な事業

【一般会計】

- ・除雪機械購入事業：2,720万円
近年の豪雪に対応するため補助金をもとに除雪機を購入し、冬期間の安全に努めます。
- ・鬼志別団地新築工事（1棟2戸）：3,700万円
公営住宅長寿命化計画に基づき、老朽住宅の建替えや解体を促進していきます。
- ・鬼志別市街13号線道路改良事業：2,800万円
25年度より3ヶ年計画で、交付金をもとに道路の幅員を解消します。
- ・体育施設に係る工事費：1,440万円
スポーツセンター内壁等の改修や、村営球場の内野整備・電盤改修を行います。
- ・牛乳と肉の館内部等改修工事：6,416万円
内部の改修のほか、老朽化した排水管等の設備を更新します。
- ・災害に備えた工事および備品購入：914万円
津波等の災害に備え、海拔表示板の設置、漁協付近3箇所崖～国道への避難階段・知来別地区避難路の新設のほか、昨年の大規模停電を受け暖房器具や発電機を増設します。
- ・開村90周年記念事業に係る経費：1,554万円
開村90周年を祝したイベント等を行いますので、村民の皆様のご参加をお待ちしております。

【特別会計等】

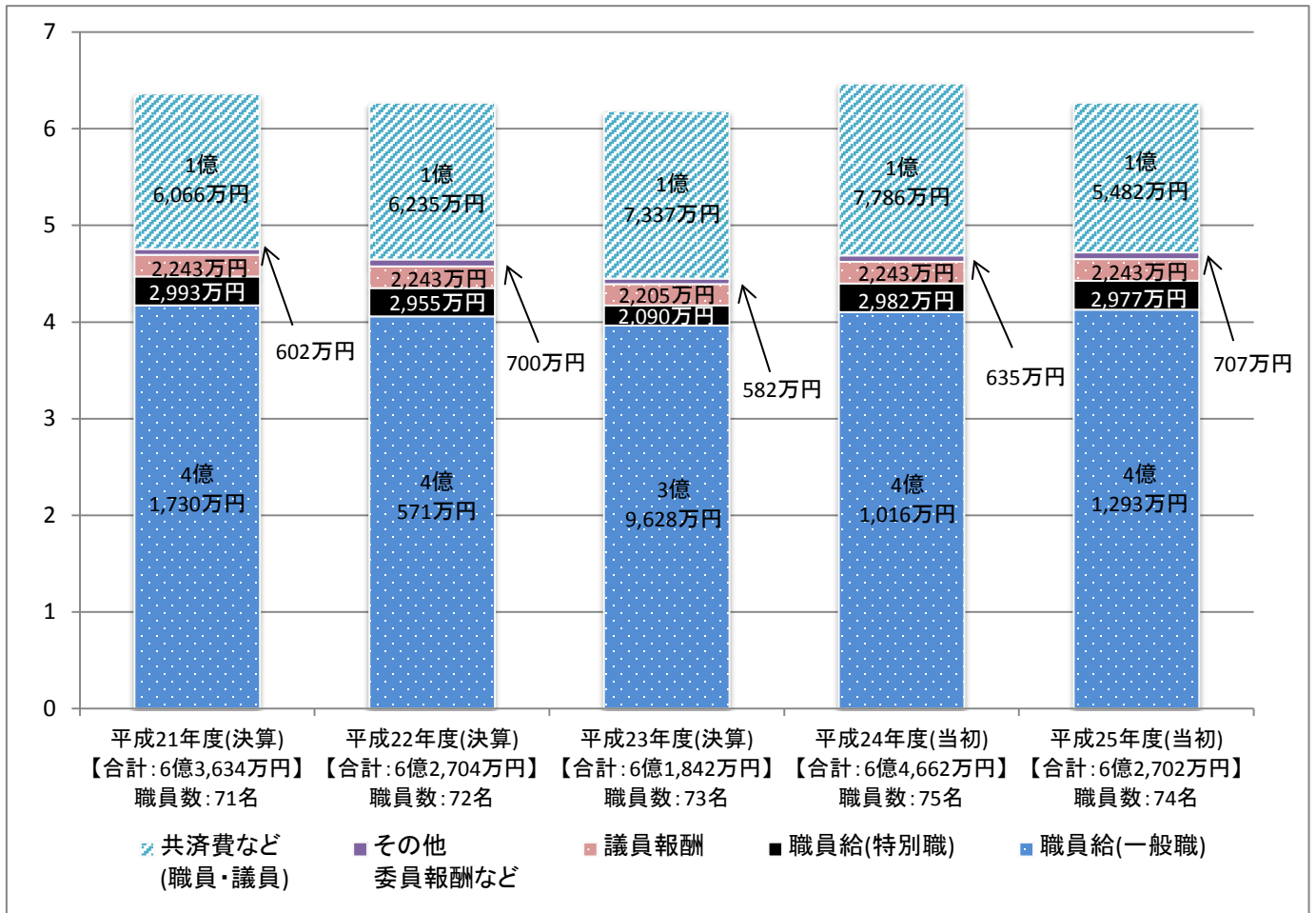
- ・【簡水】 配水管付設等工事：1,200万円
配水管新設工事のほか、鬼志別地区の仕切弁取替や、老朽化している富士見橋橋りょう添架管の支持金具の補修を行います。
- ・【下水】 合併処理浄化槽設置工事：460万円
集合処理区域外の新築住宅等に、合併処理浄化槽の設置を行います。
- ・【病院】 医療器械整備事業：304万円
高圧気中開閉器一式を購入します。
- ・【消防】 消防緊急デジタル無線整備事業：582万円
消防緊急無線をデジタル化し、迅速な救急体制を整えます。
- ・【消防】 知来別消防団詰所新築工事：2,556万円
老朽化の進んでいる知来別消防団詰所を新築します。



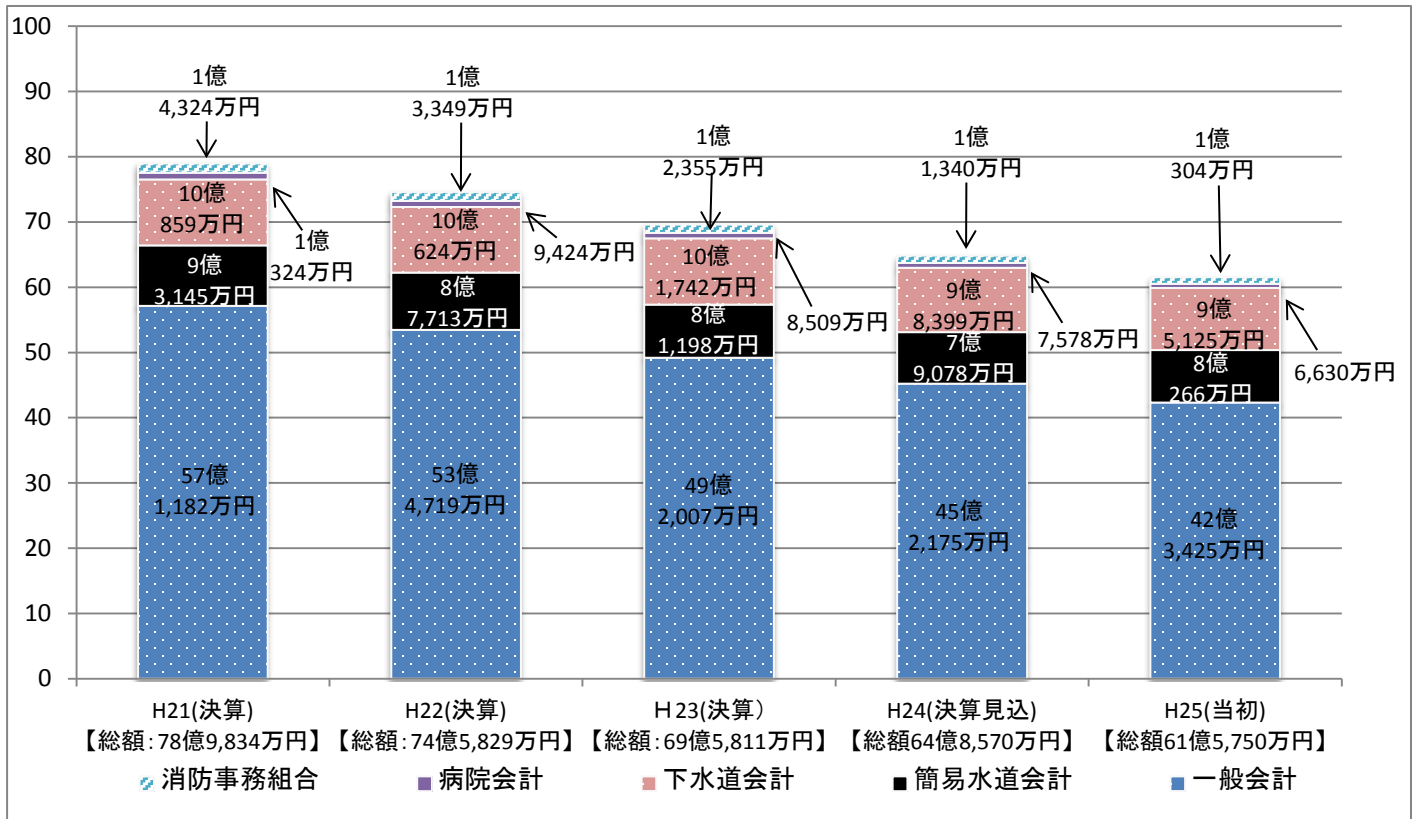
★人件費及び職員数の推移、現況について（※図表④参照）

平成25年度の人件費については6億2,702万円であり、前年度と比較し▲1,960万円（▲3.0%）減少しました。職員数については定年退職者がいる一方、毎年計画的に新規採用者を補充しているためほぼ横ばいに推移しています。平成24年度末での定年退職者は6名であり、平成25年度の新規採用者は一般事務4名、保育士3名、消防士1名の計8名です。

図表④ 【人件費内訳・推移】



図表⑤ 【村の借金（起債）残高の推移】

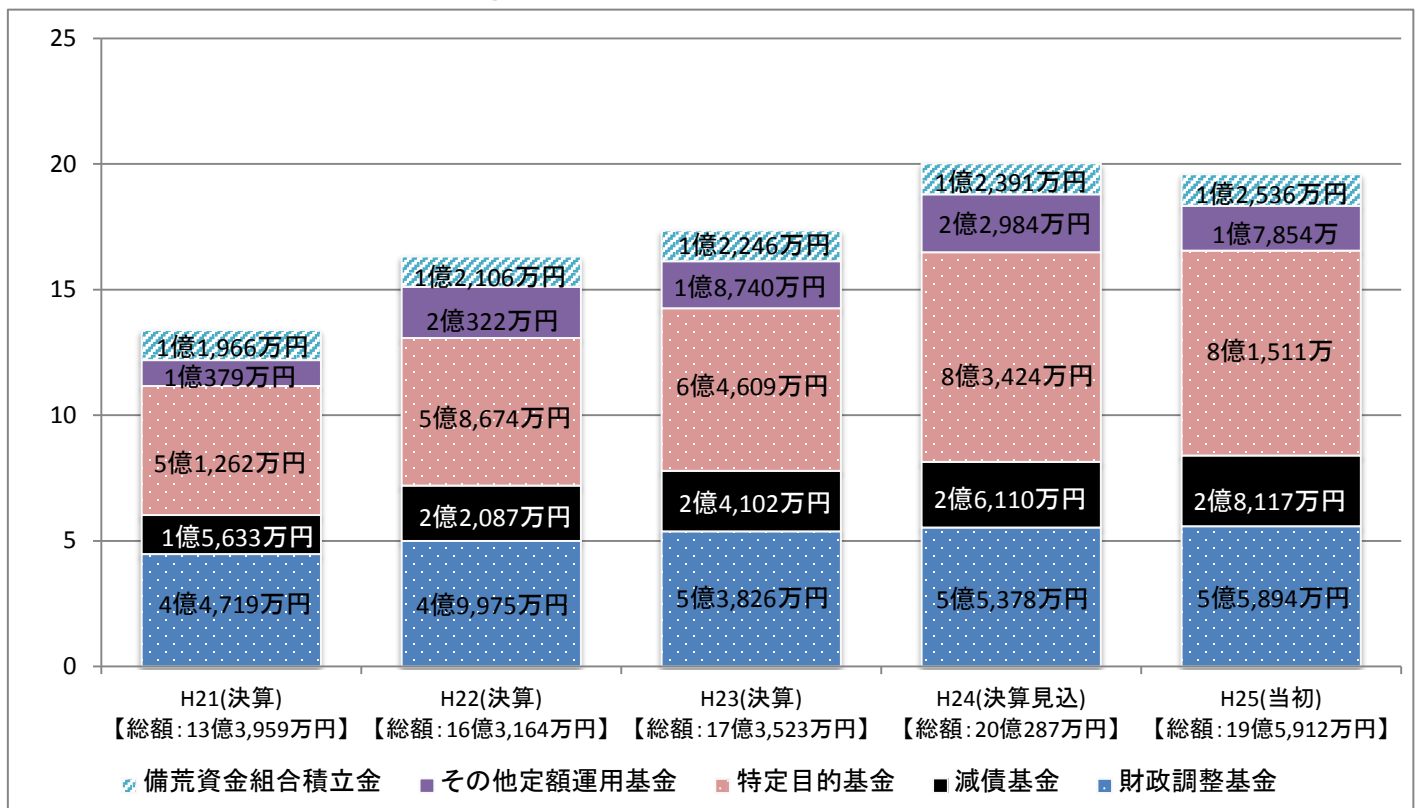


★村の借金残高について（※図表⑤参照）

借金をする際は、過疎地域やへんぴな地域に指定された市町村のみが発行できる「過疎債」や「辺地債」を活用しています。これらは返済しなければならない額の一部が、のちに交付税として交付されるという利点があります。そのため、今後交付税として補てんされる見込額約37億円（借金残高の約60%）を差し引くと、実質的な残高は約24億円となります。

また、平成25年度の借金（起債発行）については一般会計で2億8,727万円を見込んでおり、前年度当初との比較で▲1,103万円（▲3.7%）の減額となっています。毎年新たに起債は発行しているものの、返済額（償還額）が上回っているため、ピーク時の平成17年度末には約100億円もの借金がありました。図表⑤のとおり借金は年々減少しています。

図表⑥ 【村の貯金（基金）の推移】



★村の貯金（基金）について（※図表⑥参照）

平成25年度については基金全体で3,694万円の積立、8,069万円の取り崩しの予定となっており、平成25年度末の残高は前年度末見込と比較して▲4,375万円（▲2.2%）減の19億5,912万円となる見込みです。

事業の一部においては、この基金の取り崩しを財源に充てており、減少を続けている基金もあることから、計画的な積立を行うほか、基金を極力使わない予算づくりを行っていくことも必要となります。

【財政調整基金】

災害や急な工事などで、一般財源に不足が生じた場合に財源として充てることのできる基金です。

【減債基金】

村の借金(起債)を返すために充てることのできる基金です。

【特定目的基金】

特定の目的に限り財源として充てることのできる基金です。

【備荒資金組合積立金】（※普通納付金と超過納付金に分かれます。）

・普通納付金

災害による減収の補てんや災害応急復旧事業費その他災害に伴う費用などに充てるための積立金です。積立を行うことで、災害時には普通納付金の2倍の範囲内で借入を行うことができます。

※平成25年度末の積立見込額は1億2,536万円であり、災害時には約2億5,000万円程度の範囲で借入を行うことが可能です。

・超過納付金

市町村が任意で行う積立金です。（※財政上の必要に応じ、随時還付を受けることが可能です。）

猿払村の財政課題としては交付税への依存をはじめ、
今後は公共施設の老朽化も進み、建替えや修繕に多額の費用が
かかると見込まれています。経費を削減しつつ住民サービスを
維持するために、今後も事業の評価・見直しを行い、
慎重な財政運営に努めてまいりますので
村民の皆様の積極的な村政への参加・ご理解をお願い申し上げます。